



## リング指サイズゲージの使い方・測り方

- ・まず、リングを着ける指を決めて下さい。
- ・お着けになる指は原則として自由です。人差し指、小指の場合は、サイドパネルの彫刻面が着用者にも、他の方にも良く見えますが、日常生活において人差し指と小指に大ぶりのカレッジリングを装着していると不便な場合もあります。エンゲージリング等、他に常時着用している指輪がある場合、すぐ隣の指は避けた方が無難です。カレッジリング側面の角ばった彫刻部分が当たり双方の指輪に悪影響を与える場合があります。最も適切なのは、左中指・左薬指、米国で多いのは右中指・右薬指です。
- ・サイズゲージの根元についている数字がリングサイズです。
- ・サイズゲージをつけてみて、第二関節を曲げてストレスを感じない程度が適切です。チャンピオンリングやラージタイプをご注文のお客様は、特にこの点にご注意ください。リング幅が太いので、あまりきついやだと着用時に第二関節を曲げにくくなる恐れがあります。
- ・指の腹（リングをつける部分）より第二関節が細い方は、ややきつめのサイズをお選び下さい。リングの重みで、着用時にすっぽ抜ける恐れがあります。
- ・指の腹より第二関節が太い方は、第二関節に「問題無く通る」サイズをお選び下さい。「無理すれば通る」サイズは、「かなり無理しなければ抜けない」サイズです。
- ・リングを常時着用する場合は、ややきつめのサイズで。
- ・リングを常時着用せず、頻繁に着脱する場合は、ややゆるめのサイズで。
- ・人間の指は、血液の循環等でプラスマイナス1～1.5号程度変わります。血圧の低い時（寒さを感じる時や起床後直ぐ）は、細くなります。血圧の高い時（暑さを感じる時や運動後、食後など）は、むくんで太くなります。従って、サイズ計測時の自分自身の状態を考慮して、サイズを決めて下さい。特に真冬の気温が低く、手先が冷たい時は、1年のうちで最も指が細くなっています。これを基準に決めると、春夏場にはとてもキツイサイズになってしまいますのでご注意ください。

サイズゲージ本体が手の甲にくるように装着



握りこぶしを作って、ストレス無く曲がる程度がベスト。指の腹が第二関節より細い方は、こうした際に、少し隙間が出来る程度が脱着に問題が起きません。



サイズゲージで計測中にゲージがきつくて抜けなくなった時は、まず無理せずに続けて抜こうとしないでください。指に刺激を与えると血行を促進してより太くなります。深呼吸などをして心拍数を落ち着け、血行を落ち着かせてから、指の力を抜いて試してください。サイズゲージ自体を動かすのではなく、サイズゲージを固定して、着けた指を軽く動かしながら抜きます。それでも抜けない場合、流水で手を冷やすなどして、せっけん液を手につけ滑りを良くする方法もお試し下さい。

有限会社エスポアール  
代表取締役 瀧上 祥司  
shoji@philip-collegering.com

〒299-4301

千葉県長生郡一宮町一宮3442-15

TEL:0475-42-3336 FAX:0475-42-3331

[Http://www.philip-collegering.com](http://www.philip-collegering.com)